

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

令和5年度に全国初となる狩猟から解体、加工、販売までジビエが丸ごと学べる「日本ジビエアカデミー」を設立し、全国からの視察受け入れやメディア出演等を行い、全国的なジビエの普及促進や利活用に係る担い手育成に広く貢献。

有限会社サンセイ・宇佐ジビエファクトリー

（代表取締役：山末^{やますえ} 成司^{せいじ}）

主な取組

大分県宇佐市

- 平成30年にジビエの処理加工業を開始し、令和元年に国産ジビエ認証を取得し、さらに独自基準により、搬入個体の菌検査やpH値測定などジビエの衛生管理に取り組んでいる。
- 衛生管理と品質重視のため独自の冷蔵システムを導入し、冷蔵庫と同じ温度帯で作業できるよう剥被室、内臓摘出室、熟成室、カット室は全て低温度での制御が可能。さらに鉄砲弾残滓を取り除くための金属探知機、加工工程には品質保持のため瞬間冷凍機を導入。
- 「日本ジビエアカデミー」では、既存施設や、これから処理場を開業する者を対象に講習を実施しており、衛生管理、栄養学や販売方法について座学や実技を通じて学ぶことができ、人材育成に貢献。
- 小学校の社会見学や高校生、大学生のインターンシップ等を受け入れ、鳥獣被害状況や被害対策をはじめ、ジビエの有効活用とサステナブルな活動について普及啓発を実施。また、宇佐市をはじめ、他市にも学校給食への供給を行うなど食育活動を実施。

【捕獲鳥獣利活用率（大分県北部地域）】

8%（令和元年度）→19%（令和4年度）